

第 59 回大会における新たな試み

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学会員の皆様においても新しい生活への適応が求められているところと思います。本大会でもニューノーマルな大会を目指して、下記の新たな試みを行う予定です。詳細は「参加申し込み・発表申し込み要項」をご確認ください。

(1) オンライン開催でのアクセスの工夫

本学会では障害のある発表者及び参加者におけるアクセシビリティならびにダイバーシティの観点から障害の有無にかかわらずアクセスしやすい企画を重視しております。大会参加の臨場感と参加者のアクセシビリティ、ユーザビリティを最大限、満たせるような実施方法として、大会当日におけるライブ配信の企画とオンデマンドによる配信を組み合わせる予定です。自主シンポジウム・研究発表では事前動画の提出が必要となりますが、何卒ご了解いただければ幸いです。第 58 回大会にあった「誌上発表のみ」の形式はありませんので、ご注意ください。

●自主シンポジウム:オンデマンド(抄録および事前動画提出)+ライブ配信(希望企画のみ)

自主シンポジウムでは、下記の(A)(B)2つのパターンから発表申し込み時にいずれかを選択いただけます

(A) オンデマンドのみ:抄録に加えて、ディスカッションを含む企画内容全体を含む 60 分程度の動画ファイル

(mp4 形式)を作成し、登録期間内に事前提出する。提出された動画は大会 WEB 開催システムにおいて配信する。

(B) オンデマンド+ライブ配信:抄録に加えて、企画趣旨、話題提供を含む 30 分~60 分程度の動画を作成し登録期間内に事前提出する。提出された動画は大会 WEB 開催システムにおいて配信する。また、大会期間中

(9/19, 20)にディスカッションを中心とする 45 分程度のライブ配信を Zoom ウェビナーにて実施する。

●研究発表:オンデマンド(抄録および事前動画提出)+大会期間中の質疑応答

本大会は WEB 開催となるため、研究発表はすべて口頭発表として一括して取り扱われます。すべての研究発表は下記の1)および2)の要件を満たす必要があります。

1) 抄録に加えて、研究発表の内容を示す PDF あるいは PowerPoint ファイル(20 枚までのスライド)および、その説明音声を含めた 3~10 分程度の動画ファイル(mp4 形式)を作成し、登録期間内に事前提出する。提出されたファイルは大会 WEB 開催システムにおいて配信する。

2) 大会期間中(9/19, 20)に Zoom ミーティングによる 30 分程度のライブディスカッションあるいは大会 WEB 開催システムのチャット機能により参加者との質疑応答を行う。

(2)教育講演(practical mini lecture)の開催

各分野において最先端の取り組みをされている講師をお招きして、初学者向けに 30 分程度の教育講演を 10~15 企画ほど予定しております。教育講演については、オンデマンド配信により一定の期間、ご覧いただくことができるように調整しておりますので、他のライブ配信企画との重複で悩まれている方にも参加しやすいように検討しております。

(3)発表者側でアクセシビリティ対応(動画への字幕付与)を行う際の研究発表費・自主シンポジウム企画費の減額

発表者におけるアクセシビリティへの意識と技術の向上に資することを目的に、発表申し込み時に発表者側で動画への字幕付与を行うことを申告される場合には研究発表費は 2,000 円、自主シンポジウム企画費は 5,000 円減額します。

発表者側で字幕付与を行わずに動画提出も可能ですが、差額分を大会側での字幕付与作業経費等の一部に充当します。

(4) 研究発表における大会参加者が選ぶ「第 59 回大会フューチャーリサーチアワード」の実施

将来の学会発展を担う学生の研究奨励を目的として、「日本特殊教育学会第 59 回大会フューチャーリサーチアワード」を新たに実施します。発表種別において「学術研究」で申し込まれた大学院生を対象に優秀な発表を表彰します。審査にあたっては、すべての大会参加者が選考対象発表にコメントをすることができます。大会参加者からのコメントや発表資料を踏まえて、選考委員が優秀発表を数件、選考します。また、参加者からのコメントを発表者自身が確認できるようにし、研究のさらなる発展につなげられるよう検討しています。ぜひ、発表者または参加者として積極的に参画していただければ幸いです。

(5) オンラインでも参加者同士が自由に交流・雑談できる「交流ラウンジ」の開設

オンラインで実施する場合には対面と異なり、交流や雑談が難しい場合があります。そのため、大会期間中に、バーチャル会議システムを利用して、参加者同士が自由に交流・雑談できる「交流ラウンジ」を常時開放する予定です。交流ラウンジに参加している人同士が自由に話し合ったり、偶発的な交流をすることができる場を設けられればと考えております。

※企画段階につき、変更する可能性もあります。